

安全セミナー

演題

荒ぶる自然災害から犠牲者ゼロを目指す ～危機に主体的に備えるために～

大阪北部地震、西日本豪雨、台風21号、台風24号など、平成最後の夏には多数の自然災害に見舞われた関西地区。阪神・淡路大震災や東日本大震災から地震・津波への警戒を強めていたものの、洪水・土砂災害だけでなく高潮や暴雨も含めた風水害への警戒も高めるべき時にきています。荒ぶる自然災害を前に、我々は自然災害にどう向き合うべきか。風水害をテーマに、個人・地域に求められる防災のあり方についてお話しします。

片田 敏孝氏 プロフィール

1960年岐阜県生まれ。豊橋技術科学大学大学院工学研究科博士後期課程修了(工学博士)。岐阜大学、名古屋商科大学を経て、群馬大学工学部教授の後、東京大学大学院情報学環特任教授、群馬大学名誉教授。専門は災害社会学。災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開している。特に、釜石市においては、2004年から児童・生徒を中心とした津波防災教育に取り組み、東日本大震災における『釜石の奇跡』を導き出したのをはじめ、地域の災害文化としての災いをやり過ごす知恵や災害に立ち向かう主体的姿勢の定着を図ってきた。2012年には、防災の功労者として2つの内閣総理大臣表彰を受賞。

また、内閣府中央防災会議や中央教育審議会をはじめ、国・外郭団体・地方自治体の多数の委員会、審議会に携わり、研究成果を紹介しながら防災行政の推進にあたっている。主な学会活動として、日本災害情報学会副会長、日本自然災害学会評議員がある。

著書に『人が死なない防災』(集英社)、『みんなを守る命の授業／大つなみと釜石の子どもたち』(NHK出版)、『子どもたちに「生き抜く力」を』(フレーベル館)、『命を守る教育 3.11釜石からの教訓』(PHP研究所)など。



応募方法

ホームページ
から

JR西日本財団 検索

ホームページの応募フォームからお申込みください。

※応募多数の場合は抽選となります。

ホームページから応募ができない場合は、ハガキに「安全セミナー受講希望」と明記の上、①氏名・フリガナ ②郵便番号 ③住所 ④電話番号を記載し、下記の宛先へお送りください。

※講師に質問したいことがあれば、簡潔に記載してください。

※1枚につき1名様のご応募とさせていただきます。

〒530-8341 大阪市北区芝田二丁目4番24号 JR西日本あんしん社会財団

締切: 2019年1月7日(月) ※ハガキの場合は必着

- ご応募いただいた個人情報は当セミナーの運営及び当財団からのお知らせ以外の目的には使用しません。
- ご参加いただける方には参加証をお送りします。(2019年1月17日頃を予定)
- ※抽選になった場合の結果のお知らせは参加証の発送をもって代えさせていただきます。

会場案内

- JR「大阪駅 桜橋口」より徒歩8分
- 地下鉄四つ橋線「西梅田駅」より徒歩5分
- 阪神「梅田駅」より徒歩5分

